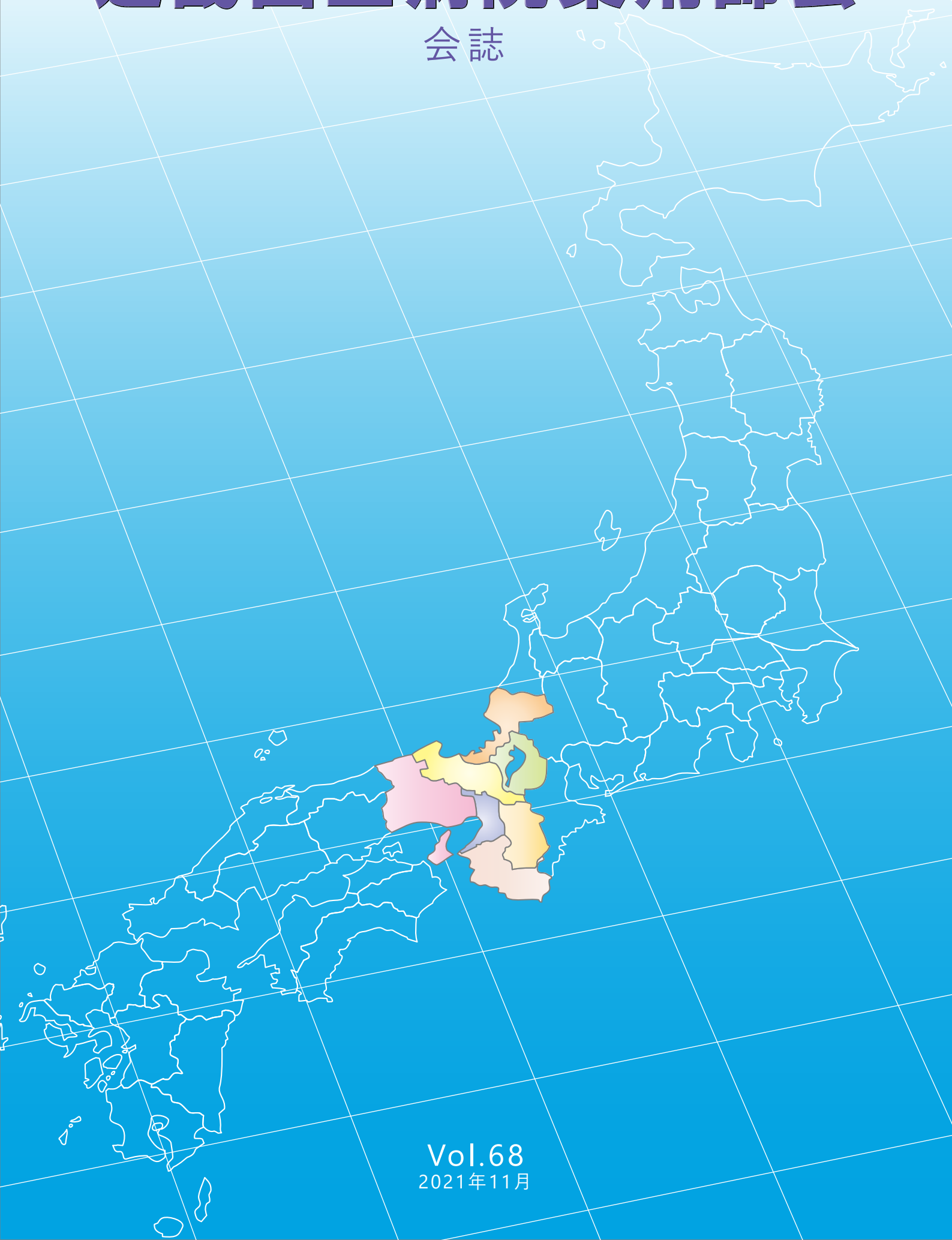


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.68
2021年11月

目 次

提言.....	2
東近江総合医療センター 畝 佳子	
薬剤部紹介.....	4
紫香楽病院 西村 幾美	
近畿国立病院薬剤師会学術大会報告.....	6
参加報告..... 南和歌山医療センター 高島 実希	
優秀賞受賞報告..... 東近江総合医療センター 山下 裕介	
特別賞受賞報告..... 神戸医療センター 植村 新	
新採用者紹介.....	10
国立循環器病研究センター 佐々木 京子	
大阪医療センター 中橋 麻友	
趣味のページ.....	11
国立循環器病研究センター 永田 理香子	
編集後記.....	12

提 言

～「三方よし」に学ぶ～

東近江総合医療センター 畝 佳子

コロナ第一波の襲来と同時に東近江総合医療センターに赴任して、早くも 1 年半が経ちました。田畑が広がるのどかな東近江の風景の中、7 階建ての新病棟は周囲 2～3 Km 先からしっかりとその姿を確認できるランドマークのような存在です。（高い建物がなく、空がとても広い！）

あいにくコロナ禍で周辺散策はできませんが、東近江医療圏域には「近江商人」発祥の地として代表的な 4 地区のうち 3 地区（蒲生八幡、日野、五個荘（湖東商人発祥地の一部））が含まれており、地域全体が「近江商人」の史跡の中心地と言えます。

これまで個人的な浅見で、「近江商人」という響きには、多少ネガティブな印象が含まれていると感じていました。しかし、深く学んでみると江戸時代に「三方よし」を理念として、顧客のために徹底的にコストダウン（工夫）を図り、全国各地で商いを通じて地域貢献や社会奉仕につとめた成功者、功労者としての史実が浮かび上がってきます。そもそも、「近江商人」というのは「近江の地で商売していた商人」ではなく、近江の中でも限られた地区から全国に出向いて「行商していた商人」のことなのです。

今回の提言のテーマ「三方よし」とは、「買い手よし」「売り手よし」「世間よし」という、至極シンプルですが非常に重要な、現代でも様々な場面で心に留めおきたい理念です。商売の際には、自己の利益だけではなく、相手の利益、地域（社会）全体の利益を考えましょう、と当たり前のことを説いているわけですが、対人関係における古今東西の永遠の理念といっても過言ではありません。今風に言うと、交渉ごとの基本となる「win・win」、そして近年世界的に取組みが広がっている SDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）にもつながる考え方です。ちなみに、近江商人が創始者となり、「三方よし」を掲げて躍進している企業を調べてみると、武田薬品、高島屋、布団の西川、伊藤忠商事、住友グループ、トヨタ自動車など、現代日本を代表する有名企業が続々と挙がってきます。

医療においては「患者よし」「施設（病院）よし」「地域（社会）よし」と置き換えて考えることができます。東近江医療圏には、「三方よし」を掲げた施設、研究会、団体が散見され、地元の医療者にとって今でも重要な共通理念、合言葉となっていることが伺われます。

江戸時代、行商で全国に散らばっていた近江商人は「連携ネットワーク」で繋がり、様々な情報交換のできる仕組みが構築されていました。彼らは、このネットワークを通じて世間のニーズを把握し、商品だけでなく新しい情報や地域活性化につながる仕組みまでも運んでいたようです。「三方よし」の理念と「連携ネットワーク」、これらは「近江商人」が各地で大成功を納めた要因として挙げられています。

私達は、7府県21施設への異動を前提とした勤務をしています。どの地域にも共通して固有の文化、特色があります。昨今は薬剤師も対人業務へのシフト、チーム医療や地域連携への積極的な参画が求められるようになっていきます。私達は異動を繰り返すことでキャリアアップを図り、固定施設では得られない様々な経験を積むことができます。しかし一方で、「対人業務へのシフト」を考える際には、数年毎の「異動」がともすれば足枷になりかねません。薬剤師として基本技能や臨床能力を磨くのは勿論なのですが、まずは異動先の地域背景を理解すること、これが患者、病院スタッフ、地域医療従事者との対人関係、さらには地域貢献を円滑に進める上で、とても重要ではないでしょうか。

我々には、すでに近畿国立病院薬剤師会という連携の仕組みがあります。このネットワークをしっかりと活用しながら「三方よし (win・win)」の心がけで誠意をもって業務にあたり、異動先の各地域に貢献できる医療者をめざしたいものです。

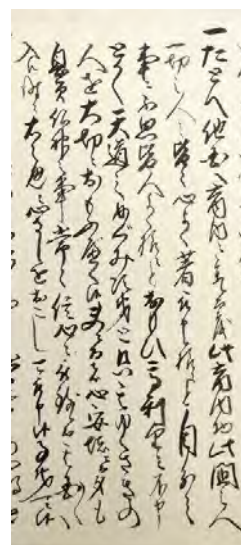
近江八幡 日牟禮ヴィレッジ外観(クラブハリエ公式 HP より)



バームクーヘンで有名なクラブハリエも近江商人の流れを汲み、「三方よし」の理念を引き継いで近年大躍進している企業の一つです

「三方よし」の原典 中村治兵衛(五個荘商人)の家訓 (抜粋)⇒

「他国へ行商した際は、自分のことよりもまず、其の国一切の人を大切に思っ
て計らい、私利を貪ることのないように…」と諭しています



薬剤部紹介



独立行政法人 国立病院機構

紫香楽病院

National Hospital Organization Shigaraki Hospital

【病院概要】

紫香楽病院は滋賀県南部に位置するたぬきの焼き物などの陶器で有名な信楽町にあります。信楽は奈良時代に聖武天皇により“紫香楽宮”とよばれた都が置かれたところで、当院の名称「紫香楽」もこの万葉仮名に由来します。わずか数年で遷都されたため長く幻の都といわれてきましたが、平成12年、宮町遺跡で宮殿跡が発見され、全国的に注目を集めるようになりました。今も幻の宮を解明するための発掘が続けられています。当院裏手にある“甲賀寺跡”は奈良の東大寺にある大仏の骨組みとなる体骨柱を立てた場所と推察されており、金堂跡、僧坊跡、塔院跡などずらりと並ぶ礎石が、当時の面影を今に伝えています。



また、信楽の町のいたるところに置いてあるのが、狸の焼き物。当院内でもたくさんの狸の置物がお出迎えです。そんな「信楽=狸」というイメージは、昭和天皇の信楽行幸の際、小旗を持ち沿道に延々と並んで天皇を歓迎する信楽狸が全国に報道され、定着したと言われています。



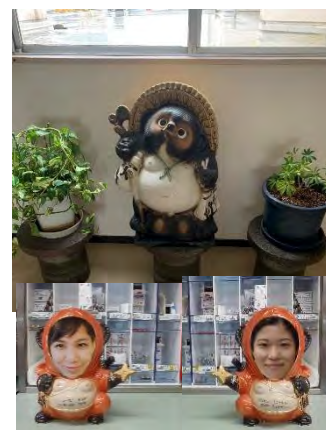
さらに、信楽の朝宮地区で栽培されている朝宮茶は「全国五大銘茶」に数えられ、1200年前に中国より持ち帰られたお茶を初めて栽培した日本茶発祥の地と伝えられています。近年は朝宮茶を使用したスイーツが味わえるカフェも増えています。

新名神高速道路の信楽インターチェンジができたことで、阪神方面、東海方面へのアクセスが向上し、次第に宅地化が進行していますが、まだ多くの緑に囲まれ、療養に適した環境にあります。

当院の病床数は180床（一般82床、重症心身障害児(者)病棟98床）です。

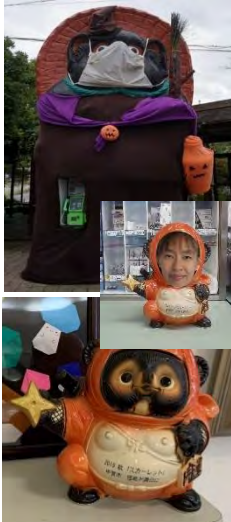


政策医療分野における重症心身障害者の専門施設であり、「新包括医療」を合言葉に良好な療養環境を提供しようと努力しています。また、滋賀県が定める神経難病医療拠点病院として登録され、甲賀医療圏の神経難病対策にも取り組んでいます。



【薬剤科概要】

薬剤科は薬剤科長・調剤主任・薬剤師 3 名、薬剤助手 1 名の計 6 名で構成されています。
(科員をさがしてください。)



外来においては地域医療へ貢献できる薬剤科を目指し、滋賀県薬剤師会（甲南甲賀支部）・信楽観光協会の協力のもと信楽地域の調剤薬局 MAP 作成から始め、患者がいつでも相談できる街の薬局（かかりつけ薬局）との連携・調整を行っています。

病棟業務においては一般病床の患者を中心に服薬支援を実施していますが、2021 年度より神経難病の患者や重症心身障害者病棟での支援を開始しました。また、退院時にはかかりつけ薬局へ入院中の薬剤変更や管理状況などの情報提供をしています。今後は調剤薬局との連携を強化するために在宅への支援を行っていく予定をしています。



(文責：西村 幾美)

近畿国立病院薬剤師会学術大会 参加報告

南和歌山医療センター 高島 実希

令和3年9月11日に開催された第16回近畿国立病院薬剤師会学術大会に参加させていただいたため、ご報告致します。昨今のCOVID-19の感染対策による影響のため、今回の近畿国立病院薬剤師会学術大会はZoomでの開催となり、15名の先生が口頭発表されました。どの発表も興味深く、私にとって他施設の取り組みや新しい知識に触れることができる有意義なものでした。

今大会から導入された一般投票により選出された優秀賞「当院でのレムデシビルにおける有害事象発現リスクの検討」を始め、COVID-19に関する演題が多く見られました。ここ2年で医療だけではなく、世界中の取り巻く環境が変わり、感染対策が生活の一部となっています。多くの患者さんと医療従事者が戦う中、大会を通して、コロナ禍でそれぞれの施設の取り組みを学ぶことができ、薬剤師の病棟業務として最善の方法や取り組みについてできることは何かを考えさせられました。また、COVID-19関連だけでなく神経難病治療薬の副作用、新人教育プログラムなど、政策医療、セーフティネット医療や教育制度など国立病院機構だからこそ幅広く扱うことのできる発表であり、今後の薬剤師の業務に活かしていきたいと思います。

例年と違いZoomという特別な環境下での学術大会開催に向け、ご尽力いただいた先生方をはじめ、発表者の先生方、日ごろの業務もある中で準備していただき、心から感謝の意を申し上げます。



近畿国立病院薬剤師会学術大会 優秀賞受賞報告

東近江総合医療センター 山下 裕介

9月11日に開催されました近畿国立病院機構薬剤師会学術大会での受賞報告をさせていただきます。

私は2019年4月に東近江総合医療センターに配属となり現在薬剤師3年目となりました。東近江総合医療センターは320床の中規模総合病院であり、多くの科を経験しながらほとんどすべての職員と顔を合わせることができる恵まれた環境で薬剤師の基礎を学んでいると感じています。そのような環境で業務を行う中で臨床的疑問を抱くこともたびたびあったのですが通常業務のみで手一杯となっていたためなかなか研究に取り掛かることができませんでした。しかし、先輩の先生方の後押しもあり、3年目にして満を持して研究を始めることができました。

研究を始めてまず感じたことは学生時代と異なり非常に時間が限られているということです。学生時代は朝起きてから寝るまで研究内容について考えたり調べたりすることができましたが社会人となり業務を並行して行うとそういきません。よってあらかじめ綿密な計画を立てた上で研究を始めることが研究を完遂するための基本の「き」であるということを実体験として学ばせていただきました。

次に感じたことは臨床研究の面白さです。今回私が行った研究はパイロットの範囲を出ることができませんが臨床的疑問を具体化することはできたと思います。その具体化された疑問や調査の過程から新たな疑問が発生してきます。このように研究を進めれば進めるほど疑問が明らかになっていき、同時に新たな疑問が明らかになった数以上に増えるという臨床疑問スパイラルが発生するのです。こうなってくるとその分野については他人ごとではなくなってくるので、ある分野を極めたければその分野について研究することが近道でありモチベーションを維持する方法の一つだと思いました。

今回粗削りな研究計画の上研究活動において素人な私が曲がりなりにも学会発表までこぎつけることができ、さらには優秀賞を獲得することができたのは共同演者の先生方をはじめとする東近江薬剤部の先生方、薬剤師会運営の先生方など多くの方のご協力のたまものでございます。私の研究を支えていただいた皆様に感謝申し上げます。

また、今回の研究活動で多くのことを学ぶことができました。この経験を今後の活動、業務に生かし、病院およびNHOに還元していければと思います。

近畿国立病院薬剤師会学術大会 特別賞受賞報告

神戸医療センター 植村 新

令和3年9月11日開催の近畿国立病院薬剤師会学術大会に参加しました。私は「COVID-19肺炎に対するバリシチニブ・ステロイド併用療法の安全性評価」というテーマについて発表し、幸いにも特別賞をいただきました。今回の研究を通して、COVID-19肺炎患者にどのようなポイントで薬剤介入できるか考えることができました。特に、安全性評価を行い患者の既往歴を含めた薬剤介入の重要性を再確認することができ自分の中で成長できたと感じています。今回の学術大会では私を含めコロナウイルス関連のテーマで発表を行う方が多い印象を受けましたが、テーマは同じでも自分とは違う視点の発表を聞くことができ、勉強になることが沢山ありました。また、同世代の薬剤師の発表は自分にとって大きな刺激になり、Web開催でなければ直接いろいろな話ができていたと思うとそこだけが少し残念です。



現在私はAST・ICTの業務に関っているため、感染についての発表を行う上で学んだ事が今後の業務に活かせるよう頑張りたいです。また、今後も臨床研究に積極的に参加していきたいと考えています。発表できる機会を与えていただき、発表に際してご指導、ご鞭撻いただいた先生方に深く感謝致します。



私事ですが学術大会発表の1ヵ月前に車を購入しました。納車の日が学術大会発表の前日だったため色々な意味でドキドキ・わくわくした発表準備期間を過ごしました。発表前日の夜、納車が遅れるといったプチアクシデントもありましたが無事納車することができました。左の写真は発表後に撮った写真でお気に入りの一枚です。感染に気を付けて趣味のゴルフにも打ち込みたいです。

新採用者紹介 ～ニューフェイス～

- 名前：佐々木 京子（ささき きょうこ）
- 施設名：国立循環器病研究センター
- 出身大学：京都薬科大学
- 座右の銘：元気があれば何でも出来る
- 抱負：9月より国循に採用されました、佐々木京子と申します。前職は調剤薬局です。急性期の治療に携わりたいと思い転職致しました。日々の業務にしっかりと励み、一人前の病院薬剤師になれるよう研鑽致します。皆様のご指導ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

- 名前：中橋 麻友（なかはし まゆ）
- 施設名：大阪医療センター
- 出身大学：神戸薬科大学
- 座右の銘：一念天に通ず
- 抱負：10月より大阪医療センターに入職いたしました、中橋麻友と申します。慣れないことも多いですが、先輩方に丁寧に指導していただきながら、日々励んでおります。一日でも早く、一人前の薬剤師になれるよう精進してまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



趣味のページ

国立循環器病研究センター 永田 理香子

舞鶴医療センター 野田 拓誠先生よりバトンを受け継ぎました、国立循環器病研究センターの永田 理香子と申します。大学時代に部活でお世話になり、同じ左利きのプレイヤーとしてとても尊敬していた先輩です。コロナ禍でなかなか厳しい状況ではありますが、またテニスできる機会を楽しみにしています！

趣味といえるほどではありませんが、今回は最近集めることにはまっている「ポケふた」について紹介させていただきます。たまたま出かけたときにポケモンデザインのマンホールがある！と気づいたのがきっかけです。そのあと、公式のホームページで日本全国に「ポケふた」と呼ばれるポケモンデザインのマンホールがあると知りました。



各地に行ってマンホールを写真に収めたい！と思っているのですが、コロナ禍のせいでなかなか遠出する機会がなく、その間にもどんどん新しいマンホールが設置されているので、本格的に旅行にいけるまでは可能な範囲で集めていこうと企てています。最近地元にも5つ新しくポケふたが設置され、帰省時にコンプリートする計画中です。

また、今一番行きたいと思っているのは鹿児島県です。公式ホームページをみていただくとわかるのですが、イーブイの進化系がそろっていて、見るだけで揃えたくくなります。今まで鹿児島県に行ったことがないため、観光と合わせてコンプリートしたいです。鹿児島にいけるのはまだまだ先かもしれませんが、今後の楽しみのひとつになっています。



ポケモンに興味がない方にとってはつまらない紹介になってしまいましたが、これを機会に一度ホームページを開いてみて少しでも興味を持てただけると嬉しいです。今回はこれで紹介を終わらせていただきます。

次は舞鶴医療センターの根上直樹先生にお願いしております。多趣味だとお伺いしているので楽しみにしています。よろしくお願いします。

編集後記

- ♪ 日ごとに寒さが加わる季節、新型コロナウイルスの第5波への対応、第6波への対策に加え、様々な医薬品の出荷停止、出荷調整への対応など、これまでの薬剤師業務とは全く異なる対応をされているすべての先生方、毎日本当にお疲れ様です。
- ♪ 昨年度は例年に比べ感染者数も極端に少なかったインフルエンザですが、免疫獲得ができていない分、今年は十分な注意が必要と言われています。会員の先生方におかれましてはくれぐれもご自愛ください。
- ♪ そのような状況の中、近畿国立病院薬剤師会では河合会長のもと、会員の交流や若手薬剤師の成長を目的として、今号に記事を掲載している学術大会や10月に行われたシンポジウムなど、今できることを模索しながら企画、運営しております。少しでも参加した意義があったと感じていただけると幸いです。
- ♪ 近畿国立病院薬剤師会会長の交代に伴い、今号は現広報委員の編集による最後の会誌となりました。記事の投稿にご協力いただいた先生方のおかげで今号も充実した内容となっています。最後までご熟読いただき、ありがとうございました。

(T.S.)

近畿国立病院薬剤師会会誌

第六十八号 令和三年十一月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

神戸市須磨区西落合3-1-1

(独立行政法人国立病院機構神戸医療センター薬剤部内)

発行人 会長 河合 実(神戸医療)

編集 広報担当理事 別府 博仁(京都医療)

広報委員 水津 智樹(大阪医療)

村津 圭治(京都医療)

常倍 翔太(兵庫中央)

池上 洋平(京都医療)

野田 拓誠(舞鶴医療)